

平成21年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		学校開放施設の団体・区民利用等				款	7	項	5	目	1	事業	4	整理番号	524			
担当部課名		教育委員会事務局社会教育スポーツ課				係名	管理係(学校開放担当)			連絡先電話番号	1665		昨年度整理番号	591		枝番号		
上位施策No・施策名		60 地域への学校開放				予算事業区分												
事業開始		昭和	▼	58	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		分野		政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業		<input type="checkbox"/> 主要事業			
事務事業の概要	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理					根拠法令等		(1) 社会教育法第44, 45, 47, 48条										
	区内在住・在勤・在学者							(2) スポーツ振興法13条										
	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)					活動指標名(式)												
	学校施設を区民のスポーツ・文化活動の場として有効に活用するとともに、学校施設を活用することで、地域のコミュニティ意識の高揚及び区民の自主的活動を活発にする。					(1) 学校施設利用者数									(2) 学校開放登録総数			
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)					成果指標 (代) = 適当な指標がない場合の代替指標													
区立小中学校施設を児童及び生徒が使用していない時間に、区民等に、スポーツ・文化活動の場として提供する。地域住民の交流のため、自主運営団体である利用者団体協議会が主体となって地域運動会、スポーツ大会及び公開講座等を行う。					成果指標名(1)		学校開放連合協議会活動回数											
					算定式・指標の説明等		役員会及び自主事業等の活動回数											
					成果指標名(2)		利用者団体協議会行事实施数											
					算定式・指標の説明等		行事实施数											
区分		単位	18年度		19年度		20年度		21年度		目標値	目標値に対する20年度の達成率%	計画に対する20年度の達成率%					
			実績		計画		実績		計画		22年度							
指標	活動指標(1)		人	720,728	700,000	733,379	740,000	751,758	740,000	740,000	740,000	101.6	101.6					
	活動指標(2)		人	19,027	22,000	19,064	22,000	19,052	22,000	22,000	22,000	86.6	86.6					
	成果指標(1)		回	774	900	764	900	776	900	900	900	86.2	86.2					
	成果指標(2)		回	32	70	36	70	37	70	70	70	52.9	52.9					
総事業費・コスト把握	事業費		千円	95,166	110,595	88,662	112,203	91,537	103,431	20年度予算執行率%			81.6					
	(内)投資的経費等		千円	0	0	0	0	0	0	特記事項								
	(内)委託費		千円	26,087	28,011	24,648	36,281	28,898	35,853	予算執行残の理由は、学校改修工事の実施及び天候不良等による校庭開放の日数減に伴う学校開放指導員謝礼の支出減によるものである。								
	職員数(常勤 非常勤)		人	3.23 2.00	3.00 2.00	3.10 2.00	3.00 2.00	3.17 2.00	3.00 2.00									
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	千円	29,264	27,420	28,334	27,150	28,689	27,150									
		(内)非常勤職員分	千円	5,660	5,540	5,540	5,600	5,600	5,600									
	総事業費 + +		千円	130,090	143,555	122,536	144,953	125,826	136,181									
	単位あたりコスト (-)÷		円	180	205	167	196	167	184									
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	0	0								
		国からの補助金等		千円	0	0	0	0	0	0								
都からの補助金等		千円	/	/	/	/	/	/										
その他の補助金等		千円	/	/	/	/	/	/										
特定財源計 + + +		千円	0	0	0	0	0	0										
差引:一般財源 -		千円	130,090	143,555	122,536	144,953	125,826	136,181										
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0										

18年度、19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成21年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 524

20年度の事業実施状況	内容	規模	単位	事業費(千円)
		(1)主な取組み (執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	学校開放指導員謝礼	3576
	学校開放に伴う光熱水費			21,961
	プール開放運営委託費	18	校	23,289
	学校施設維持管理費			12,065
	その他(光熱水費、医薬品・遊具ほか)			8,475
(2)事業実績	学校開放連合協議会として、バレーボール大会を開催し、また、中学校対抗駅伝では横断幕を作成し選手を応援しました。自主事業である個人開放実施校を回り、利用者の増加に向けて改善点を集約しました。夏のプール開放では、AEDをレンタルし、さらなる利用者の安全に努めました。利用者を増やすため、横断幕を作成し、各学校児童生徒にチラシを配布しました。遊びと憩いの場事業では、詰所及び開放用トイレについて改善点の有無を調査し予算の範囲内で修繕等しました。また、各学校を回り、指導員に業務の徹底を指示しました。			

事業開始当初から現在までの変化	ほぼ現行の学校開放の形態となった昭和61年度と平成20年度との対比 「遊びと憩いの場」開放日数4,953日 5,713日 利用人員282,892名 167,637名 「団体開放」登録団体数415団体 734団体 利用人員307,493名 751,758名
事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	学校行事の拡充等で登録団体の利用時間が制限され、特に校庭を利用する登録団体からは利用時間の確保の要望が出されています。
今後の予測	学校施設の開放時間には限界がある中で、登録団体間での利用時間の調整などにより、限られた時間の中での工夫が求められています。また、改築される校舎は夜間・休日等の開放でも管理上問題なく利用でき、防音及びプライバシーに配慮した構造にし、地域に開かれた学校であることが必要となります。

事業のあり方点検	左の理由または具体的内容	
	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	学校施設利用の登録団体数や学校施設利用者数等の増減は少なく、定着してきています。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	各利団協の活動・事業を更に活性化させ、多くの利用者の交流の場を作り上げます。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	学校施設の有効利用の一環であり、また、利用者には使用料を負担させた場合、徴収方法等が煩雑になるため、受益者負担にするには課題が多いです。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	効率的運用に努めています。

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体((3)へ)
	(3) 協働等の形態 協働[委託]	(4) 協働等の今後のあり方 推進

評価と課題	学校開放連合協議会の自主事業として初めてのバレーボール大会を開催し、各利用者団体協議会間で交流が生まれました。各協議会でも独自の行事が増加し、新たに震災訓練及び中学校対抗駅伝大会の応援等、活発に活動しました。今後、同協議会としてのスポーツ大会等を継続し、地域のコミュニティ意識の高揚及び自主的活動をさらに活発にします。また、個人開放及び遊びと憩いの場について、広報及び各学校だより等で周知し利用者を増やします。
-------	---

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	○ 増	● 現状維持	○ 減	コスト:	○ 増	● 現状維持	○ 減	
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(21年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	学校開放連合協議会の役員会で、各利団協が旺盛に交流事業を展開できるよう継続して情報交換を行い、初のバレーボール大会を行いました。遊びと憩いの場事業は、設備上の問題点を解決しました。また、校庭開放指導員に対して業務の徹底を指示しました。							
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)	事業のあり方点検欄を踏まえて記入 個人開放では利用者の増加に向けてPRに努めます。遊びと憩いの場事業は、休日など少年団体との同時利用が行われていますが、学校によっては狭く自由に遊びにくいので、学校の意向も踏まえつつ対応していきます。登録団体が少しでも活動の場が増えるよう開放施設の拡充等に取り組めます。							
		学校と地域団体との協力関係や施設構造上の違いなど学校によって状況が違ふことで、学校ごとの対応が異なるケースがあります。そのため一律的な対応が困難なため各学校ごとに対応していきます。							
22年度方針	(1)22年度予算見積りの方向性	○ 大幅増	● 増	○ 増減なし	○ 減	○ 大幅減	○ 予算なし		
	(2)理由	クラブハウス、開放用トイレ及び指導員詰所の老朽化が進んでいるため、計画的に修繕を行い、地域住民にとっても利用しやすい施設にします。							